

施策名 (通称等あれば)	特定疾病通院費助成
施策の目標	人工透析のため自家用車で通院している場合、1カ月につき6,000円の助成を行う
構成事業名	1 特定疾病通院費助成

事業の開始年度	平成10年度(事業終了予定年度 年度)
事業の目標	特定疾病のため継続して治療を受けなければならない方に対して通院費の一部として月額6,000円を助成する
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	週2~3回の透析のためガソリン代がかかる。透析は慢性的に続けなければ生命の危険に関わるため。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？
これまでの取り組み	年に4回、3カ月にまとめた申告書(通院日に○印を付けたもの)を提出してもらい、それに基づいて支払いをする。

事業の成果指標名	①障害者の経済的救済
選択理由	②
算定の方法	①1カ月6,000円

区分	単 位	年度		22年度 実績	22年度 計画	22年度 目標値
		計画	実績			
成果指標①						
達成率	%			100	100	
成果指標②						
達成率	%					
事業費(合計)	円					
内 国庫からの支出金	円					
記 その他	円			1,440,000		
一般財源	円			1,440,000		1,440,000

事業の評価	説明
関与の必要性	a) 高 ⑩) 中 c) 低
目標の達成状況	a) 順調 ⑩) 普通 c) 順調ではない
成果の向上の余地	⑩) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない
今後の方向性について(事業の計画等)	対象者については細かな周知が必要
説明	対象者については窓口で手帳交付時に説明。 パンフレット等でお知らせしている。 少しでも経済的にゆとりができる。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか？
当ではまるるすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 ⑩) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けましたことがありますか？

- はい → a) パブ/リッカ・コメントの実施 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置 ※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)
d) その他 ()

いいえ → e) 実施する予定になっている 問10. へお進みください
f) 計画中である
⑩) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた 問9. へお進みください
b) 普通
c) 良い評価を得られなかった

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)		放映日, 刊号等
時期	年	月
	年	月

②) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

②) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等が有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

a) はい →

- a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者が実施している

②) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割引引き)	備考
第 1 種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				
第 2 種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

福祉担当者の能力にもよるが、整備のため掛けることのできるお金がない。国の補助があればなんとかできることも、経費削減の時代のため苦しい状況にある。

施設名 (通称等あれば)	障害者福祉の充実	
施策の目標	健やかで生きがいのある福祉社会づくり	
構成事業名	①	福祉タクシー利用料等助成事業
	2	身体障害者住宅改造資金補助金事業

事業の開始 年度	平成3年度(事業終了予定年度)	年度
事業の目標	心身に重度の障害がある方に対し、タクシー利用料等の一部を助成することにより、社会参加を促進し、福祉の向上を図る。	
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)		
これまでの取り組み	平成17年度より、自動車燃料費助成券の交付も定め、タクシー利用券との選択制を図った。	

事業の成果 指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

区分	単 位	19年度		20年度		21年度		22年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①									
達成率	%								
成果指標②									
達成率	%								
事業費(合計)	円	15,767,313	16,119,208			15,748,741	19,782,000		
内 国庫から の支出金	円								
その他	円								

一般財源	円	15,767,313	16,119,208	15,748,741	19,782,000
------	---	------------	------------	------------	------------

事業の評価	説明
関与の必要性	a) 高 b) 中 c) 低
目標の達成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない
今後の方向性について(事業の計画等)	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ⑨) ホームページ ⑩) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) アプリカ・ゴキョウの実施
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
d) その他 ()

※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
b) 普通

c) 良い評価を得られなかった

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		
年 月		

㊸) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

㊸) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響（問い合わせ等）はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

㊸) はい

- a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- ㊸) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金等を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金等を支出している
- e) すべての民間事業者実施している

b) いいえ → 問15. へお進みください

問14. へお進み
ください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割引)	備考	
第1種 障害	単独で乗車 介護者と共に	小児	なし		5割		
		大人					
第2種 障害	単独で乗車	小児	なし		5割		
		大人			5割		
	介護者と共に	小児	なし				
		大人				なし	

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	交通・移動手段の整備充実
施策の目標	障害のために外出が困難な方の社会参加や通院等の支援
構成事業名	① 心身障がい者福祉タクシー等利用助成事業

事業の開始年度	昭和57年度(事業終了予定年度 年度)
事業の目標	障害者の社会参加促進や通院助成等
事業化に至る経緯 (関与した人物などできただけ詳しく)	事業化に至った要因は何であると考察しましたか?
これまでの取り組み	

事業の成果指標名	①利用額	②
選択理由	①	②
算定の方法	①	②

区分	単 位	19年度		20年度		21年度		22年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①	円	2,025,000	1,718,900	1,874,000	1,393,800	1,872,000	1,178,400	1,728,000	1,728,000
達成率	%								
成果指標②									
達成率	%								
事業費(合計)	円	2,025,000	1,718,900	1,874,000	1,393,800	1,872,000	1,178,400	1,728,000	1,728,000
内 国庫からの支出金	円								
その他	円								
一般財源	円	2,025,000	1,718,900	1,874,000	1,393,800	1,872,000	1,178,400	1,728,000	1,728,000

事業の評価	説明
関与の必要性	a) 高 ⑥) 中 c) 低 公共交通機関が全地域を網羅しているわけではないので必要性はある。タクシーでしか移動できない人もいる。
目標の達成状況	a) 順調 ⑥) 普通 c) 順調ではない 一定の利用者はあるので普通と評価。デマンドタクシーがH20年度から開始となったため、一部の障害者はそれを利用し、当事業は減少しているとは分析している。
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 ⑥) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない デマンド等他交通手段がない人など対象を絞って事業の効果を上げるなど余地あり。
今後の方向性について(事業の計画等)	過疎、高齢社会、地域における交通手段の改善によって、当事業の在り方も見直す必要がある。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当ではまるまるすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ ⑥) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) バックログの実施
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
d) その他 ()

- いいえ → e) 実施する予定になっている
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
b) 普通
c) 良い評価を得られなかった

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思えますか？

--

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		
年 月		

㊦) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

㊦) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

㊦) はい

- a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- ㊦) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者実施している

問14. へお進みください

b) いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割り引き)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児	なし	利用料金	5割	・デマンドタクシー ・スクールバス (住民混乗型)
		大人	なし	利用料金	5割	
第2種 障害	介護者と共に	小児				
		大人				
	単独で乗車	小児	なし	利用料金	5割	・デマンドタクシー ・スクールバス (住民混乗型)
		大人	なし	利用料金	5割	
介護者と共に	小児					
	大人					

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	共生型福祉サービスの推進
施策の目標	年齢や障害の枠を超えた福祉サービスの推進
構成事業名	1 共生型福祉サービス(子育て、高齢者、障害者支援)モデル施設の整備 2 民間サービス施設整備の促進

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始 年度	平成22年度(事業終了予定年度)	年度
事業の目標	大家族のような環境の下、相互扶助や地域の絆など、利用者が互いに良い影響を与えあうことができること。	
事業化に至る経緯 (関与した人物などでできるだけ詳しく)	高齢者、障害者、児童といった対象の枠組みにとらわれず、地域に密着した福祉サービスを提供する取り組みが、全国各地で実施されており、その効果が利用者同士の関わりに留まらず、地域における相互扶助機能、地域の絆などの視点からも評価・期待されている。については、先進地の取り組み方を学び、心豊かな人格形成に寄与できる多様な福祉サービスを創造するとともに、地域コミュニティの再生を目指すとして、当地における「共生型福祉」の在り方の検討を開始した。	
これまでの取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか? 共生型福祉推進ワーキンググループによる検討、共生型福祉サービス推進の基本方針の策定	

事業の成果 指標名	①設定なし	②
選択理由	①	②
算定の方法	①	②

区分	単位	指標・事業費の推移			
		年度	年度	年度	22年度
成果指標①	達成率	計画	実績	計画	実績
		計画	実績	計画	実績
成果指標②	達成率	計画	実績	計画	実績
		計画	実績	計画	実績

事業費(合計)	円						
内 国庫から	円						
訳の支出金	円						
その他	円						
一般財源	円						

事業の評価	説明
関与の必要性	a) 高 b) 中 c) 低
目標の達成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない
今後の方向性について(事業の計画等)	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか? 当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 ⑩ その他(現在はなし)

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) アプリケーションの実施 b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置 d) その他()
いいえ →

※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- ⑩ 実施する予定になっている ⑪ 計画中である
⑫ 現時点で実施する予定はない ⑬ その他()

問10. へお進み下さい

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		
年 月		

b) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

b) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響（問い合わせ等）はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者が実施している

問 14. へお進みください

問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車引き	割引率 (〇割引)	備考

第 1 種 障害	単独で乗車	小児	船券
		大人	
	介護者と共に	小児	
		大人	
第 2 種 障害	単独で乗車	小児	船券
		大人	
	介護者と共に	小児	
		大人	

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何かとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	地域生活支援事業の充実
施策の目標	障害者が地域において安心して生活ができるよう経済的支援を進める。障害者が地域との関わりを持てるよう、地域活動支援センター事業の積極的な活動を促進する。
構成事業名	1 地域活動支援センター事業

事業の開始年度	平成 18 年度 (事業終了予定年度 年度)
事業の目標	障害者および障害児が、地域の実情に応じ、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進を図る。
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)	平成 18 年 4 月の障害者自立支援法の施行に伴い、障害者が住み慣れた地域で自立した社会生活を営むことができるよう、管内に地域活動支援センターを設置した。それまでは、社会福祉協議会が事業主体で運営していたが、自立支援法の施行に伴い、地方公共団体が事業主体として取り組むこととなった。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？
これまでの取り組み	機能訓練や創作活動、スポーツ、レクリエーション、入浴など、在宅障害者の日中活動の支援や地域交流の促進を図ってきており、管内で唯一の障害者が活動できる場所である。

事業の成果指標名	②
選択理由	② 成果を捉えるのに通じている
算定の方法	① 利用した人数

区分	単位	19 年度		20 年度		21 年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①	人	11	11	12	12	12	12
達成率	%	100	100	109	100		
成果指標②							
達成率	%						

指標・事業費の推移

事業費 (合計)	円	14,940,000	17,010,318	17,823,747	19,047,000
内 国庫から	円				
取 引の支出金	円				
その他	円				
一般財源	円	14,940,000	17,010,318	17,823,747	19,047,000

事業の評価	説明
関与の必要性	①) 高 ②) 中 ③) 低 管内唯一の日中活動ができる施設であり、地域での自立した社会生活に向けて必要な施設である。
目標の達成状況	①) 順調 ②) 普通 ③) 順調ではない 現体制では、定員を増やすことができないため、目標と実績がほぼ同じになっている。
成果の向上の余地	①) 大幅な向上が可能 ②) ある程度の向上が可能 ③) ほとんどない 利用者数は、ここ数年ほぼ横ばいの状況であるが、近隣地域を利用して定員も増やしている。定員の拡大を図る必要がある。
今後の方向性について (事業の計画等)	社会生活の自立に向けて、創作的活動 (企業からの受注など) の充実など、継続的に作業が行える体制作りを整備していく。また、利用したい障害者をできる限り受け入れられるよう、定員の拡大をしていく。

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当ではまるものすべてを○で○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
 ①) ラジオ
 g) イベントの開催 h) その他 ()

問 7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？
 (はい) → a) パブリックコメントの実施 → 問 8. へお進みください
 ①) アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()
 ※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

いいえ → e) 実施する予定になっている → 問 10. へお進み下さい
 f) 計画中である
 g) 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- ◎ c) 良い評価を得られなかった

問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？
 地元に対するサービスを受ける施設が少ないため、利用できないことが要因であると考えられる。

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等

◎) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

- a) はい
- ◎) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響（問い合わせ等）はありましたか？

- a) はい
- b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい →
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者実施している

◎) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割り引き)	備考	
第 1 種 障害	単独で乗車	小児					
		大人					
	介護者と共に	小児			船券		
		大人					
第 2 種 障害	単独で乗車	小児					
		大人					
	介護者と共に	小児					
		大人					

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	福祉のまちづくり推進
施策の目標	誰もが生き生きと心豊かに日常生活を営み、社会活動を行うことができる社会の実現を目指す
構成事業名	1 福祉のまちづくり推進 2 バリアフリー駐車場適正利用促進

事業の開始年度	平成21年度(事業終了予定年度 一年度)
事業の目標	公共施設や商業店舗に設置されている「車いす利用者用駐車場施設(車いす駐車場)」を本来に必要としている方が、より利用しやすくなるよう、車いす駐車場の適正利用を促進する
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	平成16年度から「空けておきます!車いす駐車場キャンペーン」を行ってきたが、車いす駐車場の不適正駐車が続いていない状況だった。そこで平成20年度に開催した「車いす駐車場適正利用検討委員会」での検討報告を受け「パーキングパーミット制度」の導入の可否について検討し、「人にやさしい福祉のまちづくり条例」の整備と共に、「思いやり駐車場利用証制度」をスタートさせた。※委員会のメンバー: 障害者、商工会、スーパーマーケット協会、障害者団体、有識者等
これまでの取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか? ・地域住民、障害者団体等への制度普及。 ・事業者等への制度協力依頼。 ・社協への制度手続き協力依頼

事業の成果指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

区分	単位	年度		21年度		22年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①							
達成率	%						

成果指標②							
達成率	%						
事業費(合計)	円				5,000,000		1,729,000
内 国庫から	円						
記 の支出金	円						
その他	円						
一般財源	円				5,000,000		1,729,000

事業の評価	説明
関与の必要性	①) 高 b) 中 c) 低 市町村単位ではなく、地域内統一的に実施する必要がある
目標の達成状況	①) 順調 b) 普通 c) 順調ではない 利用証交付枚数、協力施設数、共に増加している
成果の向上の余地	①) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない 適正利用に関して、地域住民や事業者の意識が高まっている
今後の方向性について(事業の計画等)	検討中

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか?
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ①) ホームページ ②) 広報紙 ③) チラシの印刷 ④) テレビ ⑤) 新聞
⑥) ラジオ
⑦) イベントの開催 ⑧) その他(店舗での広報)

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) パブリックコメントの実施 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
d) その他()
※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている 問10. へお進みください
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない

h) その他 ()

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
 b) 普通
 c) 良い評価を得られなかった
- 問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思えますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

㊦) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
平成 年 月	地方新聞, 日本経済新聞	
平成 年 月ほか	ラジオ, 地域 FM	

b) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

㊦) はい

b) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

㊦) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
 b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
 c) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
 e) すべて民間事業者実施している
- 問 14. へお進みください

㊦) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引引き)	備考
第 1 種 障害	単独で乗車	小児				
	介護者と共に	大人				
第 2 種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。
 地域住民や事業者等の理解と協力

施策名 (通称等あれば)	
施策の目標	障がい者の生活の安定
構成事業名	① 障害者自立支援臨時特別対策事業 (通称) ゼロプラン 2 ペットボトルキャップ等回収事業 (通称) ハンディ&エコキャップ支援事業 3 ストマ用器具自己負担分助成制度 (通称)

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始 年度	平成19年度(事業終了予定年度 23年度)
事業の目標	通所施設利用者の自己負担を軽減することで、利用日数の低下を防ぎ、利用者の生活の安定と事業者の経営安定を図る。
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	障害者自立支援法の施行により、通所施設利用者の自己負担が発生し、生活に困難する者があり、通所を控えるなどが起こった。これにより、報酬の日払いとなる施設の経営も不安定となった。これを解消するため通所利用者の自己負担分を市単独で助成することとした。事業化に至った要因は何であると考察しましたか?
これまでの取り組み	

事業の成果 指標名	① 助成対象者割合	②
選択理由	① 実施状況を的確に反映できる	②
算定の方法	① 助成を受けた者/助成対象者	②

区分	単位	指標・事業費の推移			
		19年度	20年度	21年度	22年度
成果指標①	計画				
	実績				
成果指標②	計画				
	実績				
事業費(合計)	計画				
	実績				

内 国庫から	円				
訳 の支出金					
その他	円				
一般財源	円				

事業の評価	説明
関与の必要性	①) 高 b) 中 c) 低
目標の達成状況	①) 順調 b) 普通 c) 順調ではない
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 ①) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない
今後の方向性について(事業の計画等)	低所得者への負担軽減が国より示されており、制度の見直しも進められている中で、本事業も見直しが財政担当者から求められている。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか? 当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ①) ホームページ ②) 広報紙 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) パブリックコメントの実施 → 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置 ※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)
d) その他 ()

- いいえ → e) 実施する予定になっている → 問10. へお進み下さい
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られ

た地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

問 9. へお進み下さい

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

◎) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		
年 月		

b) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

◎) はい

b) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

◎) はい

b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

◎) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している

◎) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している

c) 民間事業者が主体となって運行し、事業者が補助金を支出している

d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している

e) すべての民間事業者が実施している

b) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率ほどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割引)	備考	
第 1 種 障害者	単独で乗車	小児	なし	全て	50% 200 円 → 100 円		
		大人					
	介護者と共に	小児					
		大人	なし	全て	50% 200 円 → 100 円		
第 2 種 障害者	単独で乗車	小児	なし	全て	50% 200 円 → 100 円		
		大人					
	介護者と共に	小児					
		大人	なし	全て	50% 200 円 → 100 円		

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	
施策の目標	
構成事業名 ①	お出かけサポート券交付事業

問2. 上の中でもっとも独自性の強いものを1つ選び、番号(1~4)に○を付けて下さい。

問3. その事業について以下の設問にお答えください。

事業の開始 年度	平成13年度(事業終了予定年度)	年度
事業の目標	重度障害者、知的障害者、精神障害者の社会参加を促進するため外出する際、利用するタクシードライバの一部を助成。	
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)	障害者等の外出を支援する。	
これまでの取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか？	
	毎年、1年間を通じて使える、温泉等の入浴券とタクシー券の共通券を60枚交付する。	

事業の成果 指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

問4. その事業の指標と事業費の推移をお答え下さい。

区分	単 位	指標・事業費の推移		
		年度	年度	年度
成果指標①	%	計画	実績	計画
		計画	実績	実績
成果指標②	%	計画	実績	計画
		計画	実績	実績
事業費(合計)	円	3,114,000	1,868,400	3,114,000
		内 国庫からの支出金		
	円			
	円			
	円			

一般財源	円	3,114,000	1,868,400	3,114,000
------	---	-----------	-----------	-----------

問5. 事業の評価をお答え下さい。

事業の評価	説明
関与の必要性	④) 高 b) 中 c) 低
目標の達成状況	④) 順調 b) 普通 c) 順調ではない
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 ④) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない
今後の方向性について(事業の計画等)	当面継続する。

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) パブリックコメントの実施 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
d) その他 ()
※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている 問10. へお進み下さい
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
b) 普通
c) 良い評価を得られなかった

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

㊀) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

㊀) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響（問い合わせ等）はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
 b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
 c) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
 e) すべての民間事業者実施している

問14. へお進みください

㊀) いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車料券	割引率 (〇割り引き)	備考
第1種障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

第2種障害	単独で乗車	小児			
		大人			
	介護者と共に	小児			
		大人			

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

三鷹市にお住まいの皆様

平成 22 年 12 月吉日



独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 社会精神保健研究部
家族・地域研究室

堀口 寿広

「地域のひとと人のつながりに関する意識調査」ご回答ご協力のお願い

拝啓

歳晩の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて

子ども、高齢者、障害のある方など、地域にはさまざまな人が暮らしています。すべての人にとっても暮らしやすい地域社会が求められています。地域の特性を知るための方法ではなく、それぞれの地域の特性を踏まえたものである必要があります。地域に暮らす人と人のつながりに価値があると考えて、つながりがどのようにになっているのかを調べる方法があります。

そこで、このたび、三鷹市にお住まいの皆様方に、ふだんの生活において人と人のつながりがどのようになっているかご回答をいただき、三鷹市がどのような地域なのかを知ることを目的としたアンケート調査を企画いたしました。

つきましては、時節柄ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解賜り、ご回答を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

調査の名称：「地域のひとと人のつながりに関する意識調査」

調査の根拠：平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（身体・知的等障害分野））

「共生社会を実現するための地域づくりを促進する要因の解明」（研究代表者：堀口寿広）の一環として実施

実施主体：堀口 寿広（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター）

調査対象：三鷹市にお住まいの方、1,000 名

対象者を選定した方法：平成 22 年 10 月 1 日現在、三鷹市にお住まいの方について、住民基本台帳を閲覧し無作為に抽出いたしました。皆様について、ご住所およびお名前以外の情報は一切利用しておりません。

調査期間：平成 22 年 12 月 18 日～平成 23 年 1 月 28 日

個人情報保護について：つぎのページをご覧ください。

以上

「地域のひとと人のつながりに関する意識調査」について

ご回答の前に、本状とともにご回答をお願いする調査用紙をご一読下さい。お読みいただき、本調査の趣旨についてご理解いただけましたら、ご回答をお願い申し上げます。

1 実施の意義と目的について

地域の特性を表す指標を見つけるため、地域に暮らす人と人とのネットワーク（つながり）に関する調査を行います。

2 実施内容と方法について

このアンケートへのご回答は任意です。（アンケートへのご回答は義務ではありません）

住民基本台帳から無作為に抽出した方にアンケートを郵送にてお届けし、調査へのご協力にご同意の得られた方より、郵送で無記名のご回答を収集します。

ご回答は数値の情報として扱い、統計解析により全体の傾向を見るために使用いたします。

3 実施にあたっての危険性、不利益について

市民の皆様には、アンケートへご回答を頂く以外に、この調査のために特別に行われることはありません。調査にご同意いただかなかった場合、ご回答をいただかなかった場合であっても、危険性や不利益は伴いません。また、ご回答の内容によって、皆様方にご迷惑をおかけすること、不利益が生じることは一切ございません。

4 費用

かかりません。

5 実施結果の使われ方

ご回答が集まり分析の結果がまとまりましたら、別途ご案内のとおり印刷した報告書を三鷹市図書館等へ寄贈するほか、「厚生労働科学研究データベース」ホームページ <http://mhlw-grants.niph.go.jp/research/>にて結果を公表します。ホームページでは、概要のご案内に加えて、報告書の全文をどなたでも自由にご覧いただけます（平成 23 年 5 月以降）。

6 個人情報の保護

ご回答いただく内容には、ご回答下さった方個人のご住所、お名前を含んでおりません。ご回答下さった方個人が特定されることはありません。

ご回答に当たり、皆様方の個人および生活に関する情報をご記入いただく箇所がございますが、このアンケートは三鷹市内にお住まいの方をもとに地域の状況を把握するために実施するものです。全体の傾向として統計的に分析し、三鷹市にお住まいの皆様がどのような方であるのかを通して、三鷹

市がどのような地域であるのかとして結果をまとめます。

ご回答用紙および返信用の封筒へはご住所やお名前など、皆様方について知ることのできる情報を書かずにお返し下さい。

この調査は責任者個人が実施するものであり、三鷹市が実施するものではありません。したがって、皆様方からいただいた個別のご回答をその他の情報(国、東京都、三鷹市が保管している情報)と照らし合わせることはいたしません。

ご回答の内容について、第三者からの求めにより開示することはいいたしません。当方で本依頼状況の発送後にご回答をお願いした方に関する情報を破棄しており、依頼した方を特定できる情報を一切有しておりません。ご回答下さった方ご本人であることを確認できませんので、皆様方からいただいたご回答の内容についてのお問い合わせにはお答えできませんので予めご了承下さい。

結果のまとめを学術集会および学術専門誌にて報告する場合、特定のご回答を単独で取り上げること、個別のご回答どうしを比較することはいいたしません。

回答用紙は研究事業の終了後、速やかに、個人情報保護を確保できる方法にて廃棄いたします。(シュレッダーによる裁断、もしくは梱包した状態で専門業者に委託して溶解を予定)なお、当独立法人の業務方法書、個人情報保護規程等の概要につきましては、ホームページにてご案内しておりますので、<http://www.nenp.go.jp/guide/about.html>をご覧ください。

7 調査についてご不明な点がある場合、個人情報の取扱について苦情がある場合のお申出先

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 社会精神保健研究部

家族・地域研究室 (調査実施責任者)：堀口 舞広

不在時は留守番電話が対応いたします。折り返しご連絡差し上げます。ファクシミリ、電子メールを合わせてご活用下さい。

ご質問について (Q&A)

アンケート調査についてご不明な点がございましたら、下記をご参考になさって下さい。

Q 1. この調査は三鷹市が実施するものか？

A 1. いいえ、この調査は、研究代表者が実施するものです。三鷹市が実施するものではなく、責任は三鷹市にはございません。したがって、調査の実施の方法や質問項目に関するお問い合わせ、ご回答のご記入方法についてのおたずねは、三鷹市ではなくお問合せ先(前ページ末尾に記載)にいただきますようお願い申し上げます。

Q 2. 「共生社会」とは何か？

A 2. 「共生社会」とは、

経済成長も社会の安定も人々の力に依存します。

少子・高齢化やライフスタイルの多様化が進む現在、

- ・ 国民一人ひとりが豊かな人間性を育み生きる力を身に付けていくとともに、
 - ・ 国民皆で子どもや若者を育成・支援し、
 - ・ 年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる、
- そのような社会を「共生社会」と呼びます。

(内閣府ホームページ <http://www8.cao.go.jp/souki/index.html> より引用し改変)

「共生社会」の実現を目的とした取り組みとは、従来の障害者施策にとどまらず、少子化対策、高齢社会対策、犯罪被害者等対策、自殺対策など、さまざまな領域にわたり現代のわが国に存在する喫緊の課題を広く含む概念をさします。

Q 3. 「厚生労働科学研究費補助金事業」とはどのような事業か？

A 3. 適切な科学的根拠に立脚した行政施策を行うことを目的として、厚生労働省が、所管の国立試験研究機関等において実施する研究事業です。詳細は、厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkyuujigyuu/index.html> をご覧下さい。

本研究事業では、研究の実施については研究代表者が責任を持って実施することとされており、本調査に関するお問い合わせ、ご意見等は、研究代表者へお寄せいただきますようお願い申し上げます。

Q 4. この調査の目的は何か？ 調査によってわかることは何か？

A 4. 「共生社会」を実現するためには、制度の創設や関連施設等の整備にとどまらず、官民を問わず地域づくりのさまざまな取り組みが必要になると考えられます。このとき、実施する取り組みが地域の特性を踏まえたものであることは、取り組みの成果に関連すると考えられます。そこで、今回の調査は、お寄せいただいたご回答をもとに、地域に暮らす人々の人とのつながりの様子を探る、地域の特性を把握する方法を見つけていくことを目的としております。今回の調査で三鷹市がどのような地域なのか知ることで、共生社会」をめざした地域づくりに活用できる地域特性の測り方を確立することが期待できます。

それぞれ当てはまる枠の中にご回答をご記入下さい。ご記入の際にご使用いただく筆記用具の指定などはございません（鉛筆でもボールペンでも結構です）。ご不明な点がございましたらご連絡なくおたずね下さい。

Q12. 他の人はどの程度調査に協力しているのか？ 他の人の状況に合わせたい。これまでに回答はどれくらいのが返送されているのか？

A12. 申し訳ございません。ご回答のご返送をいたしてから当方にて確認するまでに時間差がございますので、ご回答の状況について正確な数字をお答えすることができません。

Q13. どの程度回答するべきか検討したいので他の人の記入した回答を参考にしたいのだが？

A13. 申し訳ございません。いただいた個々のご回答を開示することはいたしておりませんので、お問い合わせにお答えすることができません。何卒ご了承ください。

Q14. 自分の記入した回答を訂正したいのだが？

A14. 申し訳ございません。ご回答は無記名で頂戴しており、お願いをした方がご回答くださったか把握しておりませんし、ご回答下さった方ご本人であることを確認することができません。また、いただいた個々のご回答を開示することはいたしておりませんので、ご要望にお応えすることができません。何卒ご了承ください。

Q15. アンケートを他の人に記入させて良いか

A15. ご面倒をおかけしたしております。このアンケートは三鷹市民の皆様方から無作為に選んだ方にお届けしたものです。ご回答下さった方を特定することはいたしません、お住まいの地域などを考慮してお届けしております。ご事情によりご本人様にご回答いただけない場合は、他の方にお譲りになるなどなさらずそのまま破棄していただくように存じます。

なお、ご自身でご記入することが難しいために代筆によりご記入いただくことは差し支えございません。

Q16. アンケートなど今後このような郵便物を送らないでほしい

A16. たいへんなご迷惑をおかけしたしております。このアンケートは三鷹市民の皆様方から無作為に選んだ方にお届けしたものです。今後アンケートなどが追加で送られることはございません。今回アンケートをお届けした方のご住所などの情報は、当方にて破棄し保管いたしております。

Q17. 調査結果を教えてください

A17. 調査結果につきましては、研究報告書にまとめ市内各所（市図書館等）に寄贈し、市民の皆様方にご覧いただけます。印刷した研究報告書の個別の発送はいたしておりませんのでご了承下さい。なお、報告書の概要と全文は、後日厚生労働科学研究データベース <http://mhhlw-grants.niph.go.jp/research/>にて一般に公開され、どなたでもご自由にご覧いただけるようになります。

Q5. なぜアンケートが自宅に届いたのか？ なぜ私が選ばれたのか？ アンケートの送り先をどのようにして選んだのか？

A5. 住民基本台帳の閲覧について市の定める方法に従って申し出を行い、閲覧の承認を受けて三鷹市にお住まいのすべての方の中から無作為に選んだ方のご住所と氏名を転記して発送先として利用いたしました。選定は乱数表の数字をもとに名簿から順に抽出しています。市内各地域の居住者数をもとに、特定の地域に偏ることのないよう構成比率を考慮してあります。

Q6. なぜ三鷹市で実施するのか？

A6. 三鷹市は、地域づくりにおいて行政と市民の皆様が共同で数々の先進的な取り組みを実践している地域であり、地域づくりのための方法を考えるための調査を行うには最適な地域と考えました。

Q7. アンケートへ回答することに同意ができないのだが？

A7. 個々の質問に対するご回答の可否についてのご判断はお任せいたします。この調査へのご協力ご回答は任意です。すべての質問または一部の質問にご回答いただかないことで、不利益を受けることは一切ございません。

Q8. 回答者個人についての質問（年齢、職業、家族構成、収入など）があるが、回答することに同意ができないのだが？ 何のために質問しているのか知りたいのだが？

A8. 人と人のつながりについて調べるときに、ご回答下さった方がどのような方なのかを知ることは、つながりの特徴をより詳しく知るために必要です。たとえば、ある特性（年齢層、性別、職業など）を持った方には、他の方たちから見ると特徴的なつながりがあるかもしれません。なお、個々の質問に対するご回答の可否についてのご判断はお任せいたします。この調査へのご協力ご回答は任意です。すべての質問または一部の質問にご回答いただかないことで、不利益を受けることは一切ございません。

Q9. 回答は回答用紙への手書きで記入しなければならぬか？ 回答用紙をファイルでほしいのだが？

A9. ご回答のご記入にご活用いただけよう、ファイルの用意も致しておりますので、ご連絡なくお申し付けください。もちろん、ご回答のご送付に当たりフアクシミリまたは電子メールへの添付などでのご返送も可能です。

Q10. 質問の中に、意味のわからない言葉があるのだが？

A10. 説明不足で申し訳ございません。質問文にご不明な言葉や言い回しがございましたらご連絡なくおたずね下さい。ご回答の方法につきましては、ご不明な点がございましたら同様にさせていただきます。

Q11. 回答用紙の記入の方法がわからないのだが？

A11. 説明不足で申し訳ございません。質問の番号と記入欄の番号とを揃えてありますので、

「地域の人と人のつながりに関する意識調査」アンケート

以下の質問にお答え下さい。最も当てはまるものをお選びいただくか、該当する数字等を回答用紙の該当欄にご記入下さい。個別の質問へのご回答は任意です。（ご回答を希望されない質問項目については空欄のままご記入下さい。個々の質問についてご回答いただければ幸いです。）

1. まず、あなたご自身についてお教えてください
 Q1. 年齢は？
 ____ 0代 数字を回答用紙 Q1 の欄にご記入下さい。
- Q2. 性別は？
 7. 男
 4. 女
- Q3. ご結婚されていますか？
 7. 配偶者有り（現在夫または妻がいる。事実婚を含む）
 4. 配偶者なし
- Q4. あなたと配偶者のご職業をそれぞれお答え下さい。当てはまるものを1つ選び、回答用紙の欄にご記入ください。
 7. 事務職（一般・営業職など）
 4. 販売職（小売店主、販売店員、外交員など）
 9. 管理職（課長以上の公務員又は会社員、会社役員など）
 5. 専門的・技術的職業（教員、医師、技術者、作家など）
 8. サービス職（理美容師、ウェ이터・ウェイトレス、タクシー運転手、保安関係従業員など）
 9. 現業職（大工、修理工、生産工程作業員など）
 8. 農林漁業
 7. 主婦・主夫（パートタイム従業者）
 7. 主婦・主夫（無職の）
 7. 学生
 8. 引退（主婦・主夫を除く）
 7. 失業（主婦・主夫を除く）
 8. その他
- Q5. 現在あなたが同居しているご家族の家族形態は、次のどれに当たりますか。
 7. 単身
 4. 夫婦だけ
 9. 夫婦と子供
 5. 片親と子供
 8. 夫婦と子供と親
 9. 夫婦と子供と親と夫婦の兄弟姉妹
 8. それ以外（具体的に）

Q6. 現在のあなたの世帯の人数はあなたを含め何人ですか。ここで世帯とは、生計を同一にする人を意味します。
 ____人

Q7. あなたとあなたの配偶者が最後に卒業された学校をお答えください。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。当てはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。
 7. 小中学校 卒業（尋常小学校、高等小学校を含む）
 4. 高等学校 中退（旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む）
 9. 高等学校 卒業（旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む）（卒業見込みを含む）
 5. 短期大学 中退（高専等を含む）
 8. 短期大学 卒業（高専等を含む）（卒業見込みを含む）
 9. 大学 中退（旧制高校、旧制高等専門学校を含む）
 8. 大学 卒業（旧制高校、旧制高等専門学校を含む）（卒業見込みを含む）
 7. 大学院修士課程 中退
 9. 大学院修士課程 修了（卒業見込みを含む）
 7. 大学院博士課程 中退
 8. 大学院博士課程 修了（卒業見込みを含む）

Q8. あなたの現在のお住まいの種類は、次のどれに当たりますか。当てはまるものを1つ選び回答用紙の欄にご記入ください。

7. 持家（一戸建て）
 4. 持家（集合住宅）
 9. 民間の借家（一戸建て、集合住宅）
 5. 供給住宅（社宅、公務員住宅）
 8. 公営の借家（住宅公団、住宅供給公社、県営住宅など）
 9. 借間、下宿
 8. 住み込み、寄宿舎、独身寮など
 7. その他

Q9. あなたは現在までに、どれくらいの年数、三鷹市にお住まいですか？ 回答用紙の欄に数字を直接ご記入下さい。
 ____年